

2019年度 第1回6月九大本番レベル模試地理 採点基準

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは1点減点。
- ③ 指定用語不使用は1点減点。
- ④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり，この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は，加点ポイント①を正解していなくても，加点ポイント②に該当すれば加点する。

[1]

問1 各2点

A：シャンハイ（上海） B：ホンコン（香港） C：シンガポール
D：ロンドン E：ニューヨーク

問2 15点

ホンコンとシンガポールは都市内に大きなハブ空港を持つが、東京は、長い滑走路の不足する成田国際空港がハブ空港化で後れをとった上に、都心から遠い。よって東京は、世界の主要都市との間を往復する上で相対的に不便な都市となっており、迅速な商取引をしづらい。また、東京は、ホンコンやシンガポールと違って英語でコミュニケーションをとれる人材が乏しく、そのことが大きな金融取引を対面で行う上で不利な条件となっている。

【加点ポイント】

（★問1の可否は不問だがホンコン・シンガポール以外の都市名での説明には加点しない）

i) 東京の金融取引上の不具合として（4点）

- ① 迅速な商取引に不利である／世界の主要都市との往復に時間がかかる →2点
- ② 対面取引（コミュニケーション）で不利である →2点

ii) 交通面の要因（8点）

- ①（東京・成田は）長い滑走路が少ない／長い滑走路が1本しかない
 ／ホンコン・シンガポールは長い滑走路が（成田より）多い →2点
- ②（東京・成田は）ハブ空港としての地位が低い／ハブ空港としては不便である
 ／ハブ空港としてはインチョン（仁川）に後れをとった →3点
- ③（東京・成田は）都市内に大きなハブ空港がない／都心から空港が遠い
 ／空港までの交通の便が悪い／空港まで時間がかかる →3点

iii) 人材面の要因（3点）

- ①（東京・日本は）英語を話す人材が乏しい
 ／ホンコン・シンガポールは英語を話す人材が多い
 ／ホンコン・シンガポールは英語が公用語の一つである →3点

問3 25点 [指定語句]

百貨店 副都心 大型ショッピングセンター
モータリゼーション 駅前商店街

(下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

大都市の都心は鉄道網が密に発達していて利用者も多く、駅周辺は百貨店など様々な商業施設が立地し、賑わう。また、都心から郊外に向かう鉄道への乗換駅周辺も人の往来が活発で商業施設が集積し、都心の業務機能の一部を担う副都心となっている。安価な土地を得やすい郊外では、バイパス等の幹線道路沿いに、大型ショッピングセンターなどモータリゼーションに適応した広い駐車場を持つ商業施設の建設が進んだ。一方、地方の中小都市では、郊外は大都市のそれと同様の状況であるが、中心部の駅前商店街は広い駐車場を持たない商店が大半であるため、モータリゼーションに伴う鉄道利用者の減少を受けて衰退が著しい。また、百貨店も減少した。

【加点ポイント】

i) 大都市の都心について (8点)

- | | | |
|--|---|------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ①・多くの商業施設が立地する／商業施設が集積する
 ／商業が活発である／商業施設が賑わう ・百貨店／高級店／買回り品を扱う店 が立地する ・映画館・劇場など娯楽施設が立地する | } | →1つ2点 4点まで |
| <ul style="list-style-type: none"> ② (①の背景として) ・鉄道網が密に発達している／鉄道を利用する人が多い ・通勤・通学人口が多い／人の往来が活発である ・人が集まる副都心が発達している | } | →1つ2点 4点まで |
- (※単に「人口が多い」では加点しない)

ii) 大都市の郊外について (9点)

- ① 大型ショッピングセンター が立地する →2点
- ② (①立地の特徴として) 幹線道路沿い／バイパス沿い／インターチェンジ付近 →2点
- ③ (①立地の特徴として) 広い駐車場を持つ →2点
- ④ (②③の背景として) モータリゼーションの進行
 ／自家用車でまとめ買いをする人が増えた →2点
- ⑤ (②③の背景として) 地価が安い／広大な土地を得やすい →1点

iii) 地方の中小都市の中心部について (5点)

- ① 駅前商店街は衰退傾向にある／駅前商店街はシャッター通りとなっている
 ／駅前商店街の百貨店は減少した →2点
- ② (①の背景として) 鉄道利用者の減少／モータリゼーションの進行
 ／郊外商業施設への客の流出 →1点
- ③ (①の背景として) 広い駐車場を持たない／駐車場が少ない →2点

iv) 地方の中小都市の郊外について (3点)

- ①大都市の郊外と同様である／大都市の郊外に比べて商業施設の規模が小さい →3点
- (※ ii) の①～⑤を「地方の中小都市の郊外」として挙げていても加点 3点まで)

[2]

問1 各2点

- A : ジャマイカ B : メキシコ C : ペルー
D : ブラジル E : アルゼンチン

問2 16点 [指定語句] イベリア半島 温帯 高地 プランテーション (下線不要)

※指定語句不足は1語につき-1点

中南米地域はイベリア半島出身の白人が入植して開発されたため、スペイン・ポルトガル語とカトリックを基盤としたラテン文化の社会が形成された。白人は、出身地に似た温帯・半乾燥地域で割合が高い。先住民は古代文明が栄えたアンデスの高地に集中するが、白人との混血のメスチソも多い。熱帯・亜熱帯では、プランテーションの奴隷労働者として導入されたアフリカ系黒人の割合が高い。

【加点ポイント】

i) 中南米地域の文化的共通点について (6点)

- ① (言語について) ラテン語系言語を話す/スペイン語とポルトガル語を話す →2点
→ (※どちらか1つのみ場合は1点加点)
- ② (宗教について) カトリックを信仰する →2点
(※「キリスト教」では加点しない)
- ③ (①②の背景として) イベリア半島出身の白人が入植した
/スペイン・ポルトガルの植民地であった →2点
→ (※どちらか1カ国のみ場合は1点加点)

ii) 人種・民族について (①～⑧で10点まで加点)

- ① 白人は温帯で割合が高い/白人は入植しやすい沿岸部に多い →2点
- ② 先住民はアンデス高地に多い/先住民は入植しにくい高地に多い →2点
- ③ メスチソが多い/メスチソはメキシコ (コロンビア・ペルー) に多い →2点
- ④ (③について) 先住民と白人の混血である →1点
- ⑤ 黒人が熱帯・亜熱帯の地域に多い
/黒人が西インド諸島 (カリブ諸国・ブラジル) に多い →2点
- ⑥ (⑤について) プランテーションの労働者であった
/アフリカから奴隷として連行された →1点
- ⑦ ムラートが多い/ムラートはブラジルに多い →1点
- ⑧ (⑦について) 黒人と白人の混血である →1点

問3 12点

アメリカ国境沿いに置かれた保税輸出加工区に外国資本を導入し、自国の低賃金労働力を生かした輸出向け加工工場が集積し、工業製品が原油と並ぶ輸出品となった。NAFTAの結成で貿易や投資の自由化が進むと、アメリカ企業による機械・自動車の生産拠点が移転して工業化が促進される一方、貿易の対米依存が強まっている。

【加点ポイント】

i) メキシコの貿易について (5点)

① (1990年は) 原油が主な輸出品で、機械類・自動車の輸出も多かった

／原油が一位の輸出品だったが工業化も進んだ →2点

(※「原油の輸出が主だった」のみ →1点加点)

② (2015年は) 機械類・自動車の輸出が(原油の輸出を抜き)さらに多くなった

／工業化がさらに進んだ／原油への輸出依存度が下がった →2点

③ (貿易の特徴として) 貿易のアメリカ合衆国への依存度が高い

／貿易の対米依存が強まっている

／輸出相手国としてアメリカ合衆国の比率がとても高い →1点

ii) メキシコの貿易政策について (7点)

① (1990年頃は) 保税輸出加工区(マキラドーラ)が設置されていた(1965年～) →2点

② (①について)

- ・アメリカ国境沿いに置かれた
- ・外国資本が導入された
- ・低賃金労働力を生かした
- ・アメリカ合衆国向けの部品工場が集積した

／輸出向け加工工場が集積した

／原材料・半製品を輸入し加工・組み立てを行い輸出した

1つ1点
2点まで

③ (2015年の背景として) NAFTAが成立した(1994年) →2点

④ (③の影響として) 貿易や投資の自由化が進んだ

／アメリカ合衆国から工場が多く移転した →1点

問4 12点

豊富な鉱産資源を背景に工業化を進めた結果、以前は先進国向けの重工業製品や鉱産品が輸出の上位を占めていた。近年、中国で急速に経済成長が進み油脂・食肉などの需要が急増すると、大豆や肉類などの中国向け農産物輸出が急増した。また、MERCOSURの発足で南米内での貿易自由化が進み、隣国への製品輸出も拡大した。

【加点ポイント】

i) 以前(1989年頃)について(4点)

- ①(輸出品の特徴として)重工業製品や鉱産品が輸出の上位を占めていた
／鉄鋼・機械類・鉄鉱石の輸出が多い →2点
- ②(輸出先の特徴として)先進国向けが多い
／アメリカ合衆国が輸出先の1位であった →1点
- ③(①の背景として)豊富な鉱産資源に恵まれる
／カラジャス・イタピラなどの鉄山がある
／木炭製鉄が盛んであった →1点

ii) 近年(2015年)について(8点)

- ①(輸出品の特徴として)大豆や肉類などが多い／農産物の輸出が増えた →2点
- ②(輸出先の特徴として)中国向けが増えた／中国が輸出先の1位になった →2点
- ③(輸出先の特徴として)アルゼンチンへの輸出が増えた／隣国への輸出が増えた →1点
- ④(①②の背景として)中国の油脂・食肉(飼料)などの需要増加 →1点
- ⑤(④の背景として)中国の経済成長／中国国民の所得増加 →1点
- ⑥(③の背景として)MERCOSUR(南米南部共同市場)の発足 →1点